

編集後記

2015年度の東亜同文書院大学記念センター刊行の『同文書院記念報』第24号をお届けします。

24号では、はじめに特集として昨年12月の国際シンポジウム「近代日中関係史のなかのアジア主義—東亜同文書院と東亜同文会」、および今年2月のシンポジウム「海外からの大学引き揚げをめぐる問題とその位相—東亜同文書院大学から愛知大学への人事的接合」での報告論文を掲載しました。いずれも、本センター主催のシンポジウムであり、文科省による「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」にかかわるプロジェクト「東亜同文書院を軸とした近代日中関係史の新たな構築」の一環です。各論文をご一読戴ければ、書院をとりまく研究の新しい姿が見えるのではないかと思います。

また24号では、現代中国学部の劉柏林先生、国際コミュニケーション学部の岩田晋典先生、センターフェローの藤田佳久先生の論考に加え、昨年10月の松本にて本学第3代学長であった小岩井浄を中心にした展示会・講演会を開催しましたが、そこでの小松芳郎先生のご講演、可児光治様・祖父江哲一様・熊谷達三様の貴重なお話、また一昨年広島で開催致しました講演会での宮田一郎先生のお話をおさめております。

2016年度は、上記の文科省支援プロジェクトの最終年度に当たります。そして何より、愛知大学は創立70周年を迎えます。これを記念した企画も進行しております。

なお、『同文書院記念報』は自由な言論の場であります。従って、掲載された文章の主張はあくまでも執筆者個人のものであり、本センターとは必ずしも一致するものではないことをご承知おき下さい。

2016年3月31日

愛知大学東亜同文書院大学記念センター長 三好 章